

特定非営利活動法人Jキャンプ 設立趣旨書

1 設立の趣旨

スポーツは世界の共通語として全世界で楽しまれております。オリンピックやワールドカップなど世界規模の大会から、街のスポーツイベントまでその規模は違いますが、私たちはいつでもスポーツと触れ合い楽しむことができます。国境も人種も言語も、また障害の有無も関係ありません。皆が夢中になってスポーツを楽しむことがスポーツの本旨であり、その爽快感や達成感は、私たちにとって何にもかえがたいものとなります。これがスポーツのすばらしいところなのです。

2000年夏、オーストラリア・シドニーで行われたシドニーパラリンピック。ここに、車椅子バスケットボールの日本代表として来ていた2名の選手と、その取材で来ていた長野パラリンピックアイススレッジレース金メダリストの3名が集い、「日本ではスポーツを“楽しい”と思えるきっかけが少ない。アメリカで主に若い世代に向けて行われているスポーツキャンプを日本でも開催したい！より多くの若者たちに、スポーツの真の楽しさを伝えたい！」と言う思いを形にする決意をしました。

2001年7月、この思いが北海道札幌の地で、「車椅子バスケットボールキャンプ」という形で具現化されると、以後、年に一度の恒例行事として、多くの方に受け入れられていきました。

障害のある人にとってスポーツとは、ADL(日常生活動作)を高めるだけでなく、自分のできることを見つけること、仲間を作ること、夢中になること、多くのすばらしいきっかけを与えてくれるツールです。この重要性は、障害者の権利条約第30条でも謳われています。

そこで私たちは、2001年からこれまで作り上げてきたものを礎として、車椅子バスケットボールキャンプの開催を中心とした事業を通じて、車椅子バスケットボールの真の楽しさを伝えることにより、障害のある人の可能性を追求し、日本における障害者スポーツの振興や健康の増進、生涯スポーツの促進、さらには希望の持てる明るい社会づくりに貢献していきたいと考えております。

そのためには現在の活動では限界を感じております。今回、特定非営利活動法人の申請をし、社会的信用や会計の透明性、公益性などの今後の活動に必要とされる要件を満たし、地域社会に貢献することで、皆様に愛され、信頼される組織になりたいと考えております。

以上の理由と目標をもって、私どもは特定非営利活動法人として今後の活動をしていきたいと思っております。

2 申請に至るまでの経緯

- 平成13年 3月 任意団体にて設立
- 平成13年 7月 第1回目のキャンプ開催（札幌）
- 平成14年 8月 第2回目のキャンプ開催（福島）
- 平成15年 7月 ジュニアエリートキャンプ派遣（アメリカ・イリノイ大学）
- 平成15年 8月 第3回目のキャンプ開催（福島）
- 平成16年12月 第4回目のキャンプ開催（山口）
- 平成17年 8月 第5回目のキャンプ開催（福島）
- 平成18年 8月 第6回目のキャンプ開催（大阪）
- 平成20年 1月 第7回目のキャンプ開催（山口）
- 平成20年 6月 NPO法人設立に向けての設立総会開催

平成20年6月29日

代表者 住所又は居所
千葉県市川市湊新田1丁目9番3—505号（グランシャリオ）
氏名 及川 晋平 印